

An aerial photograph of a tropical island, likely in Okinawa, Japan. The island features a long runway and taxiway on the left side, surrounded by green fields and some buildings. The rest of the island is covered in a patchwork of brown and green agricultural fields. The coastline is visible, with a sandy beach and turquoise water. The sky is blue with scattered white clouds.

下地島エアロスペース 特区構想

沖縄をより輝かせるために

趣旨

宇宙旅行の幕開けとなった今、『宇宙にいける島、下地島』は、今後宇宙飛行の拠点として脚光を浴びるだろう。

これを好機と捉え、下地島を空と宇宙に関する先端技術の日本有数の規制緩和・税制優遇・補助事業等のテストベッドアイランドとし、下地島から世界に向けて宇宙・空の技術の発信拠点としていくことを企図する。



下地島宇宙港事業コンソーシアム設立

下地島エアロスペース特区構想

プレスリリース



2021年6月22日
PDエアロスペース株式会社

宇宙港事業コンソーシアム設立のお知らせ



PDエアロスペース株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表:緒川修治、以下「当社」)は、沖縄県と2020年9月に基本合意した「下地島空港及び周辺用地の利活用事業」で宇宙港事業を展開するにあたり、「下地島宇宙港事業推進コンソーシアム」を設立することをお知らせ致します。

本コンソーシアムは、下地島宇宙港事業に関心のある幅広い事業者様と連携し、下地島宇宙港事業の実現と、当該事業を基点とした多様なビジネスを展開していく予定です。現時点で、全16社(下記参画企業参照)の事業者様に参画を頂いています。今後も地元企業様をはじめ多種多様な事業者様にご参加いただき、皆さまの事業領域を活かしながら、宇宙港事業を推進していくものとなります。下地島、伊良部島、宮古島をはじめとする地域および行政の皆様、また沖縄経済圏の皆さまと相互に連携し、本コンソーシアムを通して宇宙産業の促進、地域振興に貢献致します。

【名称】 下地島宇宙港事業推進コンソーシアム

【目的】 「宇宙に行ける島、下地島」をキーコンセプトに下地島宇宙港事業の実現、並びに宇宙港事業をベースとした産業振興に資する活動を行うことを目的とします。

【活動内容】

- (1) 宇宙港事業及び関連事業に関わる企画及び推進活動
- (2) 渉外活動(地域社会との連携、企業誘致、プロモーション活動など)
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な活動

【参画企業】 ※コンソーシアム設立初期:全16社



【コンソーシアム入会案内/お問い合わせ先】

下地島宇宙港事業推進コンソーシアム事務局

Website: <https://spp.pdas.co.jp> ※規約ほか申込方法など

E-mail: info_ssp_conso@pdas.co.jp TEL: 0566-95-8228 担当: 石田(仲)



目的

- 下地島を宇宙・空関連の技術の集積地とし、世界に発信する。
- 沖縄を日本をリードする最先端集積の場とし、最大の規制緩和の地とする。
- 推進途上にある、沖縄国家戦略特区の最大活用機会であり、国が進める規制緩和取り組みの県としての実践の場となる。
- 次期振興計画の具体化・実現
- 空の技術向上や最先端集積による、沖縄の課題解決（渋滞緩和、県民所得向上、離島対応、その他）
- SDGsゼロ地点の構築。沖縄を夢あふれる地とし、幸せを実感できる地域に。
- 沖縄県の基地跡地利用の先鞭とする。
- 離島対策のモデルとし、離島への横展開を図る。



背景と可能性

- 下地島が宇宙港として発展する可能性・機会を、それだけに留めることなく、更にPositiveに沖縄の発展・課題解決に繋げることの重要性。
- 下地島宇宙港推進事業コンソーシアムの設立。多くの県内外の経済界サポートが得られる。特に県外の手企業との参画は心強く、PDエアロスペース社へ出資を行っている、ANAや豊田通商等は空飛ぶ自動車等空関連の技術にも積極的であり、特区に興味を示すものと考えられる。
- 国・県が最大の規制緩和、税制優遇、補助金等の権利をエアロスペース特区の参入企業に与えるとともに、単なる権利提供のみならず、ワンストップ窓口などサービス面の充実を図ることが重要。トヨタウーブンシティ、国家戦略特区、スーパーシティの取り組みを参考に、最高峰のサービスを提供すること肝要。
- 他県との競合になる可能性大。機会損失とならぬよう配慮。
- 台湾は日本をまねてサンドボックスアイランドを構築していると聞く。台湾をはじめとしたアジア各国の協力も得る。



企業からの声

- そもそも宇宙に関しては規制だらけ。「人をとばすための法律」の整備
- ドローンに関しては飛行禁止空域での航行の制限
- 機体認証の簡素化
- 固定翼ドローンなどは離陸着陸に広い場所が必要
- 下地島にドローンライセンススクールのニーズ
(壮大な海をドローンで見て、規制や制限を受けずに飛ばしたい)
- 空飛ぶクルマは2023~24年に航空機として認証受ける。実証実験もさまざまなところで行われるが、沖縄は重要視している。
- ヘリポート等周辺住民合意に時間がかかる。これら簡素化。
- ドローンも空飛ぶクルマも空港起点でのMaasとなる。よって空港を拠点とした規制緩和エリアは大きな意義あり。



やるべきこと

- 下地島エアロスペース特区検討委員会設立
(啓蒙・要請・世論喚起・構想具体化等)
- 上記特区設立の課題確認(法律、環境、既存宇宙事業との親和性他)
何がボトルネックで、どう変えたら良いか。
- 地元や企業からのヒアリング
- 興味を示す大手企業の参画要請、県内経済界の結束要請
- その他



他地域の取り組み

- 国土交通省は空の移動革命に向けたロードマップ策定(平成30年12月)
- 国土交通省による「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」公募開始
- 三重県は実証実験の誘致や社会実装に向けた環境整備、地域住民や地元事業者の機運醸成等「空飛ぶクルマ」を活用した新たなビジネス展開のための環境づくりを開始(令和元年より)

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/05/ci400014667.htm>

- 福島県は福島イノベーションコースト構想で建設されたロボットテストフィールドによる様々な実証実験を開始。
<https://www.fipo.or.jp/robot/>
設置された複数の無線基地局を介した飛行経路を設定し、物流分野等への適応を設定した場合の目視外試験飛行等実施。
- 三重県と福島県は相互連携に関する協力協定を締結
- あいち・とこなめスーパーシティ構想では中部国際空港を起点とした空飛ぶクルマやドローンによる空の移動・物流サービスを企図(他のスーパーシティ構想でも同様のケースありと推察)
- ANAは長崎県五島市でオンライン診療と組み合わせて医薬品を即時配送するネットワーク構築。福岡でセブンイレブンとスマホによるコンビニ商品の即時配送の実証実験。
- JALは2022年頃に奄美大島での無操縦者航空機の実証実験の実施。
空飛ぶクルマの社会実装に積極的な三重県との連携。

宇宙港の可能性という機会と、特区という強みを空・宇宙関連の規制緩和につなげる。これが沖縄らしさ、沖縄の差別優位性。

下地島エアロスペース特区構想



本特区構想に関連する振興計画素案

- 第2章3(4) 将来像実現に向けた課題と道筋(20P)
- 第4章1(1) 世界に誇れる島嶼型環境モデル地域の形成(34P)
- 第4章3(3) ResorTech Okinawaの推進(100P、101P)
- 第4章3(4) アジアのダイナミズムを取り込む(106P)
- 第4章3(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業創出(111P)
- 第4章3(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興(125P)
- 第5章1(4) 美ら島交通ネットワークの構築(185P)
- 第6章1(3) 広大な海域の保全・活用(190P)
- 第6章2(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域(194P)
- 第6章3(4) 宮古圏域(229P)



最後に

次の10年を睨む振興計画において、日本をリードし、沖縄の差別優位性を活かした、沖縄発の具体的な取り組みが求められる。

個々の民間企業の規制緩和要請に基づく個別対応ではなく、スーパーシティー構想や、他自治体が率先して取り組んでいるような、**沖縄県自らが沖縄に独自の戦略特区を作り、様々な企業を誘致し、県及び国の未来に貢献するんだという意気込みや大胆な構想が必要である。**

本提言は、民間企業等からの規制緩和要請提言ではない。より具体的で緻密な提言でもない。地元住民にヒアリングした結果のものでもない。**県が自ら県をより良くしようと、自ら構想を掲げるためのアイデアを示したにすぎない。しかし、県が旗を振れば、山は動くもの**と考える。

振興計画を具体化しようとする、県の意気込みに期待し、**県が旗を振る本件検討チームの発足に期待する。**

